

6月28日からの大雨による排水対策を急ぎましょう！

1 大雨に関する対策について

◎6月28日からの大雨で浸水し、停滞水が発生しているほ場が見られます。

そのような圃場では、下記の対策を徹底しましょう。

- ①早急に停滞水の排水を図る必要があります。**明渠、排水溝、排水口の点検・手直しを行い速やかな排水に努めましょう。**
- ②また今後も降雨が続く予報ですが、**タイミングをみて、遅れずに中耕・培土を行い、生育の促進と雑草防除を両立しましょう。**

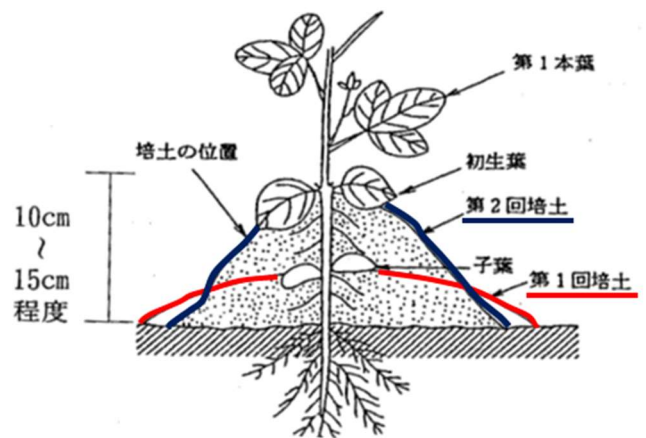
2 今後の対策について

適期中耕・培土で生育促進

◎生育を促進させるため、中耕・培土作業に

入りましょう。培土の時期は**1回目が3葉期、2回目が6～7葉期**が基本です。

◎雑草の発生が目立ってきています。
遅れずに中耕・培土を行いましょう。



除草剤は雑草の種類に応じて適期散布

- ◎大豆の生育期に使用できる除草剤を選ぶ際には、雑草の種類（イネ科、広葉）、大豆の葉齢、雑草の葉齢・草丈などの確認が必要です。時期を逃さないよう適期散布を心がけましょう。
- ◎除草剤は**使用基準をしっかりと確認し、適正に使用**しましょう。使用方法が雑草茎葉散布（畦間・株間処理）の除草剤は 専用ノズルを使用し散布します。

帰化アサガオ類の防除は早期発見と早期対策が特に有効

◎管内で帰化アサガオ類の発生が確認されています。

早期対策で拡大させないことが重要です。

【帰化アサガオ類防除のポイント】

- ①大豆を健全に生育させ、雑草との競合力を高めることが基本。
- ②大豆が繁茂し条間を覆う頃まで、概ね2週間ごとに防除（除草剤、中耕・培土）。
- ③つるになる前に手取りする。
- ④畦畔や農道などほ場外からの侵入を防止する。
- ⑤作業機械に付着した種子による他圃場への拡散に注意する。



マルバルコウ



マメアサガオ



アメリカアサガオ



マルバアサガオ

農作業事故と熱中症に要注意！ 声をかけ合い農作業事故を防止しましょう！

